



南丘小だより

北九州市立南丘小学校
 校長 倉方 寿士
 TEL 581-1343
 FAX 581-1344

《 徳…やさしく 知…かしこく 体…元気よく 》 学力特集号

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」については、平成28年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

学力の定義や捉え方は様々であり、一概に論じることはできません。この学力調査もそのときの学力の一部を表しているに過ぎませんが、この結果も客観的な指標の一つであると考えます。本校では調査結果も重視し、今後も効果的な指導や学力向上につながる教育活動が実践できるように努めてまいります。ご家庭でも家庭学習チャレンジハンドブックなどを参考にされ、お子様の学習をご支援いただけましたら幸いです。

1. 教科に関する調査結果の概要

| カテゴリー | 学力調査の分析(傾向や特徴) |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語A | 日々の漢字の読み書きの練習、読書、辞書をひく等の基本的な学習を繰り返し行う必要がある。 また、文章を読むことに慣れ、目的や意図に応じて、読んだり、話し合ったり、書いたりといった基本的な技能の定着を図る必要がある。 |
| 国語B | 文章の読み方、書き方を中心とした活用する力に課題がある。まずは、長文に慣れ、どこが聞かれていることか、必要なことは、何かを判断する力が必要である。また、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくむ力が必要である。 |
| 算数A | 計算力については、取組の成果が少しずつでているようである。特に、「数量関係」領域については、一層の定着を図る必要がある。 |
| 算数B | 記述式の問題形式で無回答率が高い。問題の意味を考え、順序立てて記述していくことに課題がある。資料の中で、問題を解決するために必要なことを判断する力が必要である。 |

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要

| 質問紙調査の結果分析 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 「授業のはじめに目標が示されていたと思いますか。」の問いに、97.3%の児童が、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えている。また、「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。」の問いに、94.7%の児童が、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えている。 テレビやビデオ・DVDの視聴時間が県や全国に比べて長い。また、家庭での学習時間の少なさや家庭での学習習慣が身に付いていない児童が多い。これらの結果より、テレビ・ビデオ・DVDの視聴、学習時間などを含めた家庭生活の過ごし方について課題がある。学校だよりや懇談会やPTA理事会等で、よりよい家庭生活に向けて、生活習慣や学習習慣の大切さを啓発する必要がある。 |

3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- ◎ 「漢字の書き取り」の習熟を高める取組の実施。
 - ・ 一文字一文字丁寧に書く習慣や正しい筆順が身に付くように薄墨たどり練習をよりていねいにする。
- ◎ ローマ字に親しむ時間を確保する。
 - ・ 朝自習にローマ字を練習する時間を位置付ける。また、掲示物等の表記にローマ字表記を加え、触れる機会を増やす。
- ◎ 資料を基に、自分の考えを整理し、論述する力を高める取組の実施。
 - ・ 理科や社会科での新聞づくりの学習で、論点を明確にして記事にまとめる指導を徹底する。
 - ・ 総合的な学習の時間などで、個人の課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現といった学習活動の時間を確実に確保し、指導を行う。
- ◎ 目的・意図に応じて「書く」ことに慣れる取組の実施。
 - ・ 学習の終わりに「まとめ（ふり返り）」を書く時間には、視点を設定し、ポイントを絞って書くよう指導を行う。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ◎ 家庭に向けてよりよい生活習慣づくりを啓発。
 - ・ 「生活がんばり表」で、起床・就寝時刻、睡眠時間、家庭学習の時間、朝食の有無等の調査し、その結果を使って児童や保護者に啓発を行う。
 - ・ 家庭学習チャレンジハンドブックや「南小倉中学校区家庭学習のすすめ」（28年度2学期発行予定）を使って「家庭学習チャレンジ講座」を開き、家庭学習の指導を行う。
 - ・ 各学級の家庭学習マイスター賞を決め、展示を行い、児童への啓発を行う。優れたものには「家庭学習マイスター賞」へ参加を行う。
 - ・ 家庭教育学級の講座や特設授業を保護者や児童に行い、携帯電話やスマートホンの適切な使用方法について指導・啓発を行う。PTA協議会が行っている「ケータイ夜10時電源OFF運動」の周知を行い、PTAと一緒に啓発を進める。
- ◎ 全国学力・学習状況調査の課題と取組状況について保護者へ周知。
 - ・ 学校だよりや地域の会議等で全国学力・学習状況調査の概要について周知する。